



<ベトナム・リサーチ・レポート>

ベトナム AI 経済の成長ポテンシャルと投資機会

ベトナム経済は力強い成長軌道にあり、2026 年第 3 四半期（Q3）の実質国内総生産（GDP）成長率は前年同期比 9.95%を記録し、1－9 月の累計 GDP 成長率は 9.01%となった。こうした高成長を背景に、人工知能（AI）は単なる先進技術の枠を超え、国家の「飛躍の時代」を牽引する成長の原動力へと変容しつつある。2026 年 8 月 28 日付けで首相決定第 1671/QĐ-TTg 号「**2030 年までの AI 国家戦略および 2045 年ビジョン**」が正式承認され、ベトナムは従来の「AI の研究・応用」から「AI による国家全般の包括的トランスフォーメーション（変革・再構築）」へと戦略の舵を切った。本戦略は、中長期的な産業構造の高度化と生産性向上を支える中核アジェンダと位置付けられている。

2030年までの目標

AI経済がGDP比で約6%を占める。

AI導入・活用産業における労働生産性が10～15%向上する。

AI統合型製品・サービス・ソリューションの輸出額が約50億米ドルに達する。



生産年齢人口の生成AI利用率は2026年Q1の26.5%からQ2には27.9%へ拡大



26年Q2の生成AI利用率は、東南アジアでシンガポールに次ぐ第2位、世界で第33位



ベトナムのAIスタートアップ向け投資額は2023年の1,000万米ドルから2025年には1.3億米ドルへ急増（2年間で13倍に）



AI導入企業数は約24.5万社（全体比26%）に達し、前年の18%から大幅増

（出所）マイクロソフト、アマゾン、ベトナム政府メディアの情報を基に CPVN 作成

ベトナム国内では、生成 AI の実証実験段階から、商用化および民間・公共部門での実装へとシフトし、エコシステムが形成されつつある。今後高付加価値化が期待される領域は、GPU（Graphics Processing Unit、画像処理装置）/AI クラウド、データセンター、ベトナム語特化型 LLM（Large Language Model、大規模言語モデル）・データ基盤、AI エージェント、業務の自動化、製造・物流・金融・公共分野における応用等である。本戦略は、包括的な AI バリューチェーンの構築を目標としている。

これらの目標を達成すべく、政府は以下の 3 つの主要な施策を展開している。

- ① **法的枠組みの整備**：2025 年 12 月 10 日に国会で可決され、2026 年 3 月 1 日付けで施行された「人工知能法（法律第 134/2025/QH15 号）」に基づき、AI の研究・開発・提供・導入・利用に関わる総合的な枠組みを確立。
- ② **インフラおよびデータ基盤の整備**：決定第 1671/QĐ-TTg 号の指針に基づき、国家レベルでの AI 計算能力の構築、主要データベースの標準化、共有データの拡大、および AI インフラ向け電力資源の安定確保を推進。
- ③ **市場育成および人材開発**：2030 年までの目標として、高度 AI 人材 1 万人以上、AI 応用能力を有する大学卒以上の人材 5 万人、AI の導入・運用能力を備えた労働者 50 万人の育成を掲げると

<免責事項>

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



<ベトナム・リサーチ・レポート>

ともに、パブリックセクターにおける AI 活用の促進、民間企業やスタートアップへの支援拡大、および官民連携（PPP）の強化を図る。

現在、ベトナムのテクノロジー企業はエコシステムを強力に発展させており、AI 全般にわたる包括的な能力を備え、グローバルサプライチェーンにおいて強固な立ち位置を確立しつつある。

企業名	AI エコシステムにおける主な展開領域
FPT	AI/クラウド、AI エージェント、LLM、AI サービスおよびソリューション輸出
Viettel	インフラ、AIR&D、コンピュータビジョン、データ分析および大規模課題解決
VNPT	政府・行政、企業向けおよび大規模サービス向け AI
VNG/GreenNode	AI クラウド、GPU クラウドおよび AI インフラストラクチャー
VinAI	AI 研究、コンピュータビジョンおよび AI/LLM モデル開発
CMC	データセンター、クラウド、ビッグデータおよび AIaaS（AI-as-a-Service）

（出所）各社ウェブサイトを基に CPVN 作成

投資家にとって、ベトナム AI 経済における機会は AI 関連企業への直接投資にとどまらない。データセンター、AI クラウド・GPU、データ基盤、自動化、さらには製造・ロジスティクス・金融向け AI ソリューションといった周辺・関連領域にも広範な投資機会が存在している。特に、ベトナムが有するソフトウェア開発および AI 技術能力と、日系企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）需要との融合は、企業間取引（B2B）連携や AI サービスの輸出における成長余地を創出することが期待される。

高度に発達した情報通信技術（ICT）基盤、加速する AI の導入・活用、そして明確な政府による支援策を背景に、ベトナムは地域内において高い競争力を有する AI エコシステムを形成するポテンシャルを秘めている。AI は今後、ベトナムの新たな成長エンジンとなるだけでなく、テクノロジー、デジタルインフラ、製造業といった広範な分野において、多くの投資および協業の機会を創出するものと期待される。当社では、引き続きベトナムにおける AI セクターの展開に注目していく。

<免責事項>

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。